

証券コード：6748

SEIWA

創意 ⊕ 革新

モノづくりの原点を見つめ、これから変わるもの変わらぬもの。

2023年12月期

決算説明

星和電機株式会社

(2024年3月6日収録)

動画 URL : <https://www.seiwa.co.jp/ir/kessan.html>

- 1. 決算概要**
- 2. 中期経営方針について**
- 3. 当期の取り組み事例について**
- 4. 2024年12月期の業績見通しについて**
- 5. 株主還元について**

1. 決算概要

■ 売上高 前年同期より1.4%増加

増加：産業用照明器具、道路情報表示システム、道路・トンネル照明器具

減少：電磁波環境対策部品

■ 営業利益 前年同期より32.5%減少

増加：産業用照明器具、配管保護機材、道路・トンネル照明器具

減少：電磁波環境対策部品、道路情報表示システム

(単位：百万円)

| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|---------------------|-----------|-----------|-------|--------|
| 売上高 | 23,429 | 23,760 | 330 | 1.4 |
| 売上総利益 | 5,571 | 5,224 | △ 347 | △ 6.2 |
| 販管費 | 4,028 | 4,183 | 154 | 3.8 |
| 営業利益 | 1,543 | 1,041 | △ 501 | △ 32.5 |
| 経常利益 | 1,575 | 1,159 | △ 415 | △ 26.4 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,101 | 793 | △ 307 | △ 27.9 |
| 自己資本当期純利益率(%) | 8.1 | 5.3 | △ 2.8 | — |
| 総資産経常利益率(%) | 5.4 | 4.1 | △ 1.3 | — |
| 売上高営業利益率(%) | 6.6 | 4.4 | △ 2.2 | — |

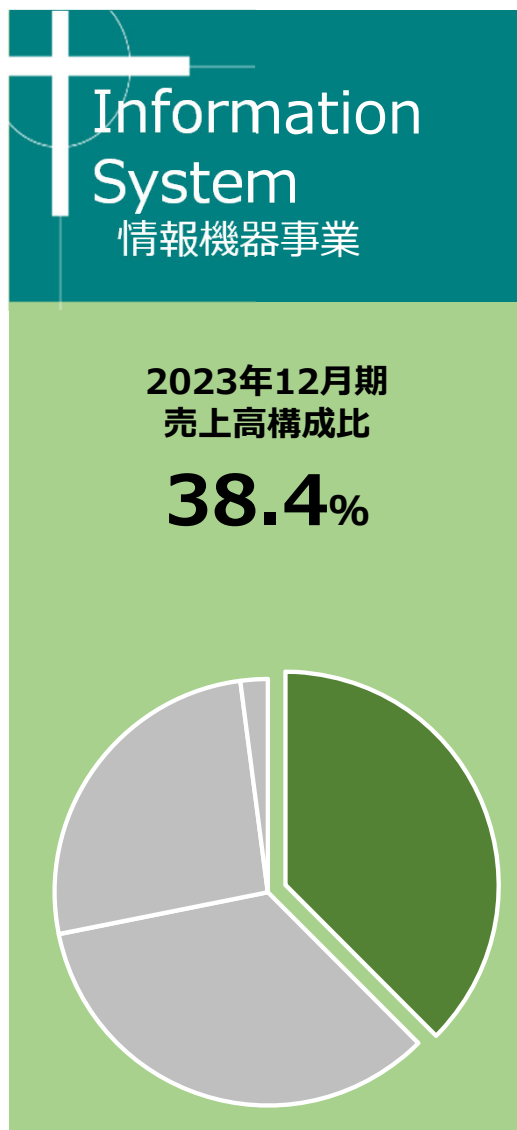
(官需比率)

45%

47%

セグメント別の状況 ①情報機器事業

SEIWA



(単位：百万円)

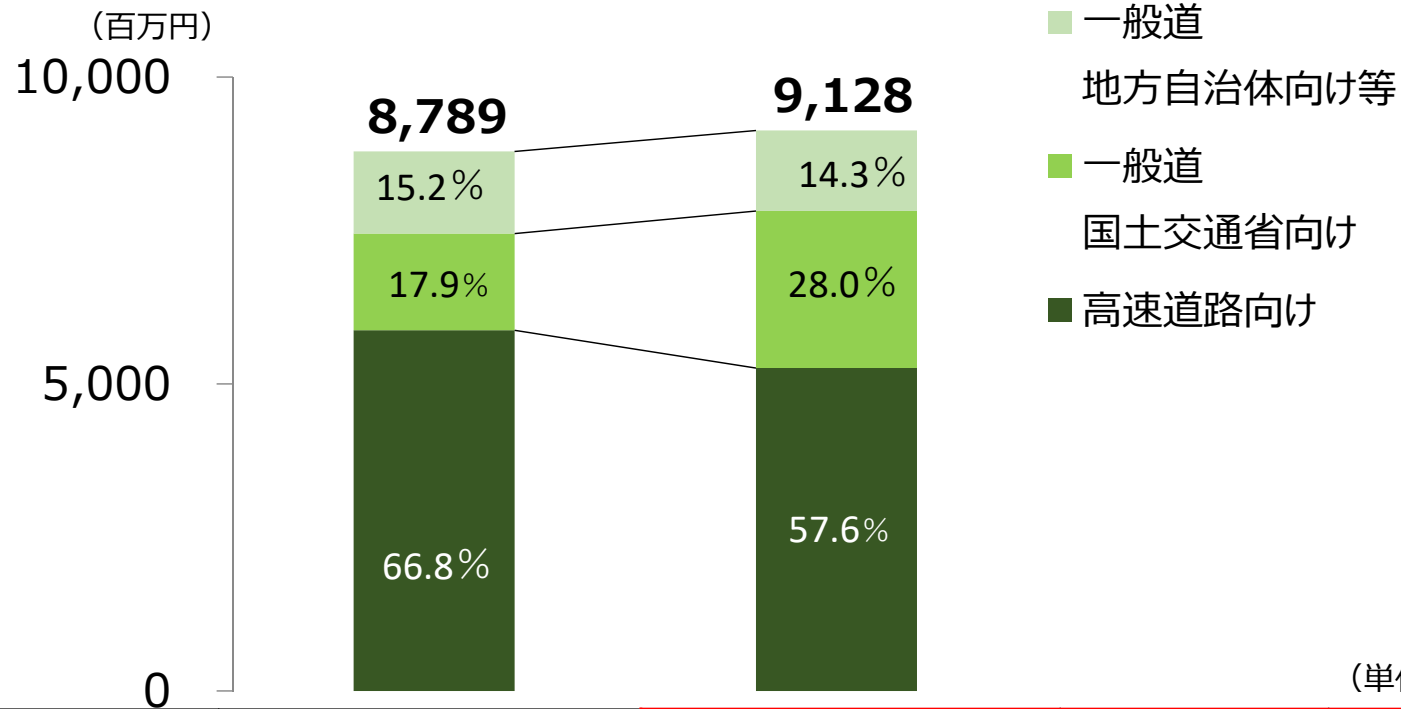
| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|---------|-----------|-----------|-------|--------|
| 売上高 | 8,789 | 9,128 | 339 | 3.9 |
| セグメント利益 | 1,542 | 957 | △ 585 | △ 37.9 |
| 受注高 | 6,911 | 13,276 | 6,364 | 92.1 |
| 受注残高 | 7,503 | 11,650 | 4,147 | 55.3 |

- (売上高) 高速道路向けは、受注高は増加したものの工期の長期化にともない、期中の売上高が少なく減少
一般道路向けは増加
- (利益) 原材料の価格高騰および人件費の上昇等により減益
- (受注) 期中受注高の増加により、受注残高が増加

セグメント別の状況 ①情報機器事業

SEIWA

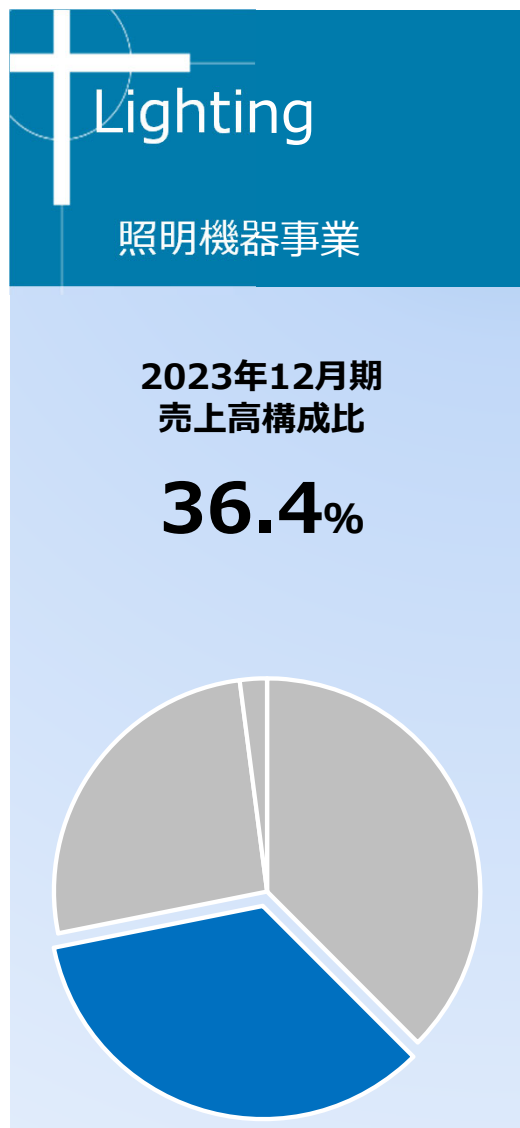
市場別売上高



| | 2022年12月期 | 2023年12期 | 増減 | 増減率(%) |
|-------------------|-----------|----------|------|--------|
| ■ 高速道路向け | 5,874 | 5,259 | △615 | △10.5 |
| ■ 一般道 国土交通省向け | 1,576 | 2,559 | 983 | 62.3 |
| ■ 一般道 地方自治体向け等 | 1,337 | 1,309 | △28 | △2.1 |

セグメント別の状況 ②照明機器事業

SEIWA



(単位：百万円)

| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|---------|-----------|-----------|-------|--------|
| 売上高 | 8,045 | 8,653 | 608 | 7.6 |
| セグメント利益 | 866 | 1,375 | 508 | 58.7 |
| 受注高 | 8,210 | 9,211 | 1,000 | 12.2 |
| 受注残高 | 2,361 | 2,865 | 504 | 21.3 |

- (売上高) 民間設備関連の産業用照明器具は増加
公共設備関連の道路・トンネル照明器具は増加
- (利益) 増収による増益
- (受注) 道路・トンネル照明器具の期中受注高の増加により、受注残高が増加

セグメント別の状況 ②照明機器事業

SEIWA

製品群別売上高

(百万円)

10,000

5,000

0

8,045

8,653

17.3%

6.0%

20.8%

5.1%

76.7%

74.1%

■ 道路・トンネル照明器具

■ LEDモジュール製品

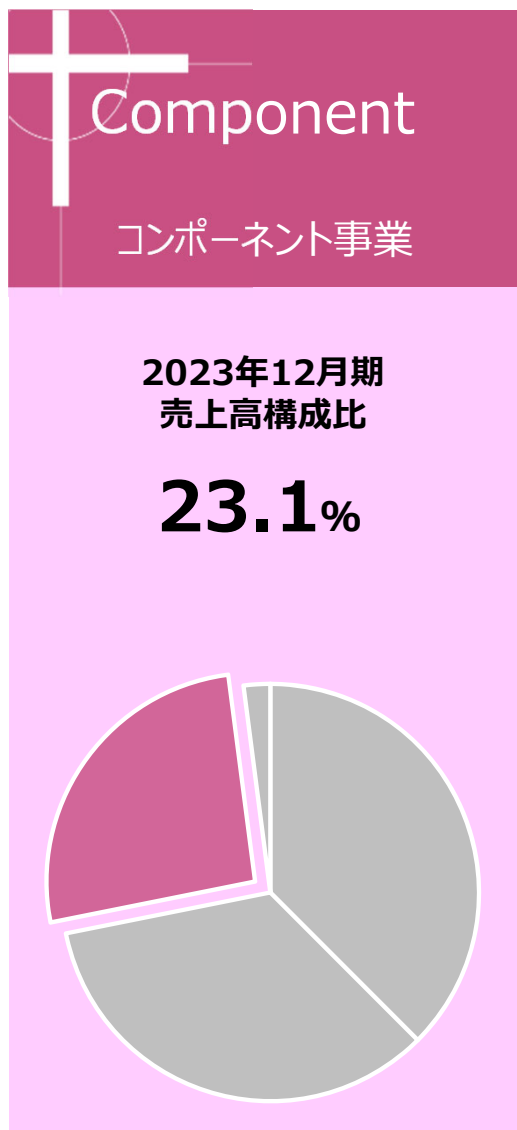
■ 産業用照明器具

(単位：百万円)

| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|---------------|-----------|-----------|-----|--------|
| ■ 産業用照明器具 | 6,171 | 6,409 | 238 | 3.9 |
| ■ LEDモジュール製品 | 482 | 441 | △40 | △8.5 |
| ■ 道路・トンネル照明器具 | 1,391 | 1,803 | 411 | 29.5 |

セグメント別の状況 ③コンポーネント事業

SEIWA



(単位：百万円)

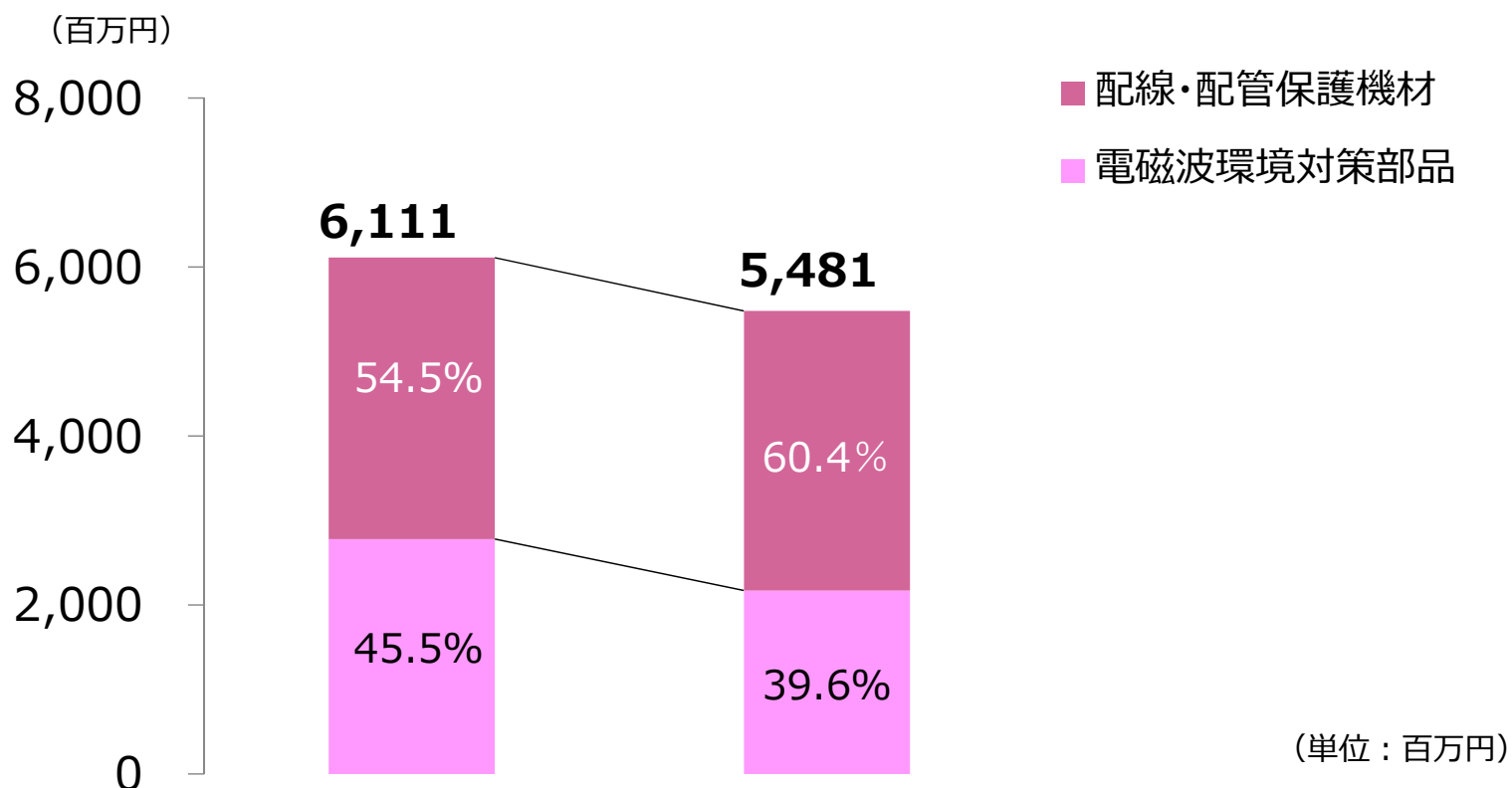
| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|---------|-----------|-----------|---------|--------|
| 売上高 | 6,111 | 5,481 | △ 630 | △ 10.3 |
| セグメント利益 | 724 | 389 | △ 334 | △ 46.2 |
| 受注高 | 6,010 | 4,940 | △ 1,070 | △ 17.8 |
| 受注残高 | 1,030 | 437 | △ 593 | △ 57.6 |

- (売上高) 産業用配線保護機材は増加、配管保護機材は微減
電磁波環境対策部品は半導体市場の調整局面等の影響を受け減少
- (利益) 電磁波環境対策部品の減収にともなう減益
- (受注) 電磁波環境対策部品の期中受注高は半導体市場の調整局面にともない減少
受注残高は長納期化の改善にともない減少の傾向にあるが、コロナ前に比べると高水準

セグメント別の状況 ③コンポーネント事業

SEIWA

製品群別売上高



| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 | 増減率(%) |
|-------------|-----------|-----------|------|--------|
| ■ 電磁波環境対策部品 | 2,781 | 2,172 | △609 | △21.9 |
| ■ 配線・配管保護機材 | 3,330 | 3,309 | △20 | △0.6 |

(単位：百万円)

| | 2022年12月期 期末 | 2023年12月期 期末 | 増減 |
|-------------|-----------------|-----------------|---------|
| 資産 | 28,308 | 27,939 | △ 368 |
| 流動資産 | 20,238 | 19,190 | △ 1,047 |
| 現金及び預金 | 3,568 | 2,804 | △ 763 |
| 固定資産 | 8,069 | 8,748 | 678 |
| 負債 | 14,197 | 12,292 | △ 1,905 |
| 流動負債 | 12,524 | 10,581 | △ 1,942 |
| その他 | 2,139 | 1,364 | △ 775 |
| 固定負債 | 1,672 | 1,710 | 37 |
| 純資産 | 14,110 | 15,647 | 1,536 |
| 利益剰余金 | 5,148 | 5,745 | 596 |
| 其他有価証券評価差額金 | 860 | 1,455 | 595 |
| 総資産 | 28,308 | 27,939 | △ 368 |
| <自己資本比率> | 49.7% | 55.9% | 6.2PT |

主な増減理由

- (資産) 減少：現金及び預金の減少
- (負債) 減少：その他流動負債(未払消費税)の減少
- (純資産) 増加：親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び其他有価証券評価差額金の増加

- 営業キャッシュ・フロー 法人税等の支払があったものの、税金等調整前当期純利益を計上したことにより5億29百万円の獲得
 - 投資キャッシュ・フロー 有形固定資産及び無形固定資産の取得により3億64百万円の使用
 - 財務キャッシュ・フロー 長期借入金及び短期借入金の返済等により9億89百万円の使用
- (単位：百万円)

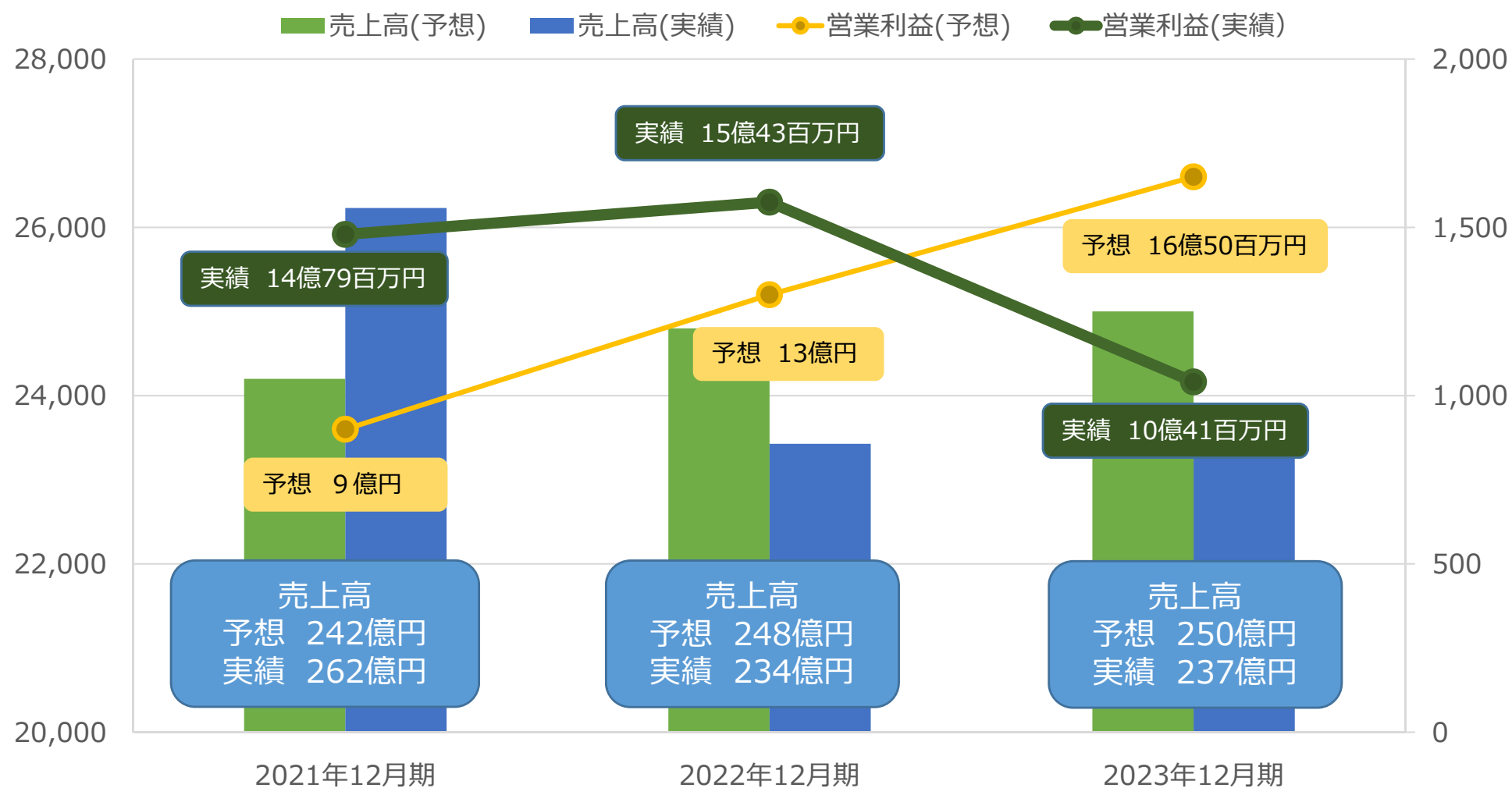
| | 2022年12月期 | 2023年12月期 | 増減 |
|-----------------|-----------|-----------|---------|
| 営業キャッシュ・フロー | 4,498 | 529 | △ 3,968 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,600 | 1,161 | △ 439 |
| 法人税等の支払額 | △ 487 | △ 529 | △ 42 |
| 投資キャッシュ・フロー | △ 131 | △ 364 | △ 233 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 348 | △ 225 | 123 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 130 | △ 128 | 1 |
| 財務キャッシュ・フロー | △ 3,281 | △ 989 | 2,292 |
| 短期借入金の純増減額 | △ 3,400 | △ 200 | 3,200 |
| 長期借入金の返済による支出 | △ 734 | △ 592 | 142 |
| 現金及び現金同等物 期中増減額 | 1,166 | △ 769 | △ 1,936 |
| 現金及び現金同等物 期末残高 | 3,357 | 2,587 | △ 769 |

2. 中期経営方針について

- **経営成績の振り返り
(2021年12月期～2023年12月期)**
- **新中期経営方針・戦略
(2024年12月期～2026年12月期)**

経営成績の振り返り①

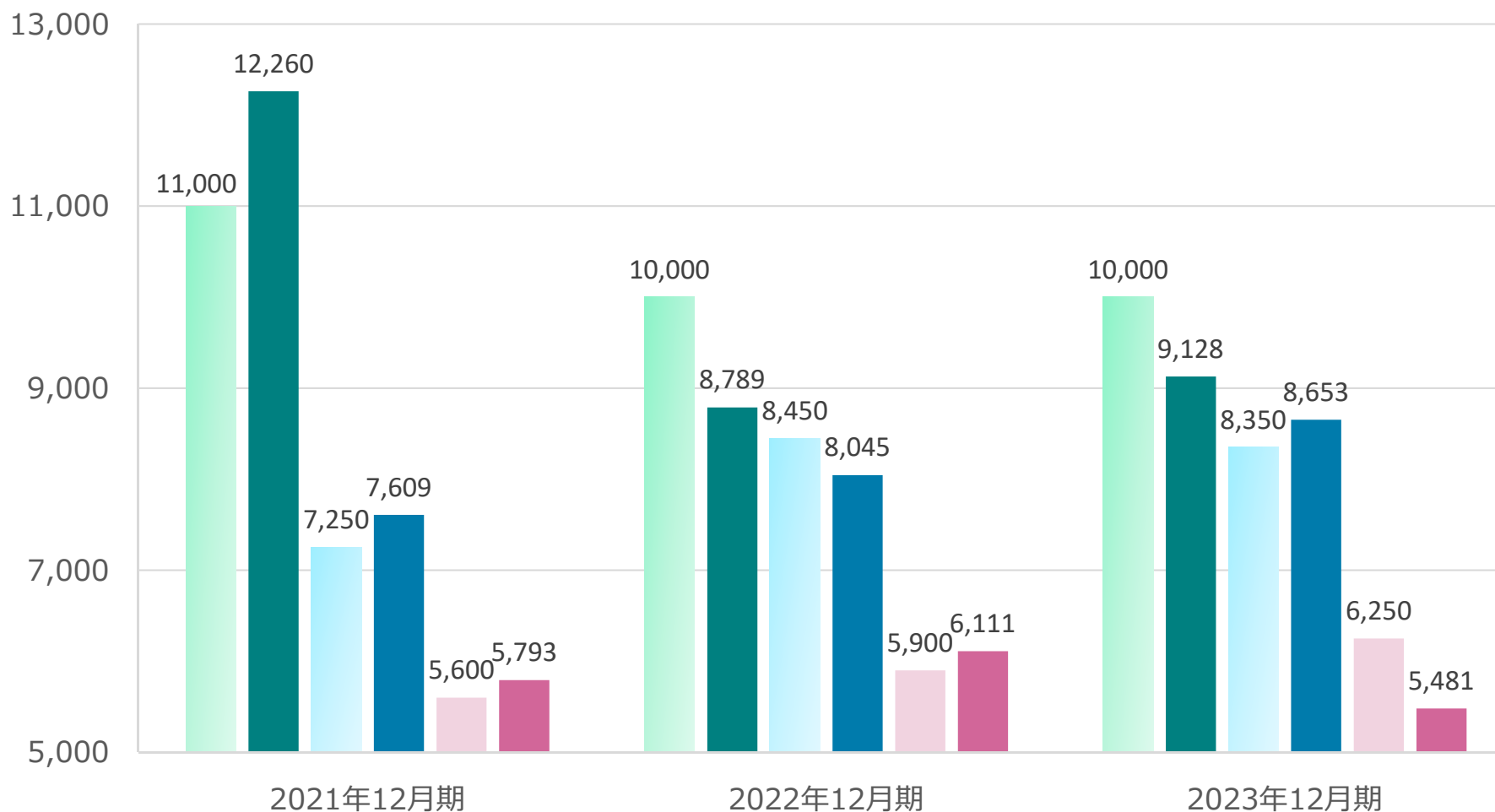
(単位:百万円)



経営成績の振り返り②

- 情報機器売上高(予想)
- 情報機器売上高(実績)
- 照明機器売上高(予想)
- 照明機器売上高(実績)
- コンポーネント売上高(予想)
- コンポーネント売上高(実績)

(単位:百万円)



“インテリジェント・プロダクト” を実現し、 高い製造力を実現する。

3か年の平均業績(※)

前中期
2019年3月期～2020年12月期(※)

中期
2021年12月期～2023年12月期

(単位：百万円)

| | | | | |
|-------|--------|---|------------------|--------|
| 売上高 | 23,556 | ↑ | +917 (+3.9%) | 24,473 |
| 営業利益 | 722 | ↑ | +632 (+87.6%) | 1,354 |
| 営業利益率 | 3.1% | ↑ | +2.4PT | 5.5% |

※2020年12月期は9か月決算のため、前中期は2年9か月で平均業績を算出しています。

新中期経営戦略（2024年12月期～2026年12月期）

経営理念
人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、社会に貢献する

経営方針
環境変化に適応した俊敏な事業活動により、
マルチコアカンパニーとして進化し続ける企業を
目指す

中期経営方針

モノづくり

市場創出

技術

各事業ミッション

Information System
情報機器事業

Lighting
照明機器事業

Component
コンポーネント事業

「持続可能な社会」へ

中期経営方針
持続可能な組織を実現するために
Seiwa Way の思想に基づき責任ある行動をする

▶ 中期経営方針を実現するための3つの観点

モノづくり

製販のチームワークにより、高品質、低コスト、短納期を追求し、常に進化し続ける

市場創出

既存領域から未知の領域へ情報感度を高め、新市場を開拓し、新規事業を創出する

技術

コア技術の強化・ノウハウの継承により、新技術・新製品開発を加速させる

3. 当期の取り組み事例について

Lighting

照明機器事業

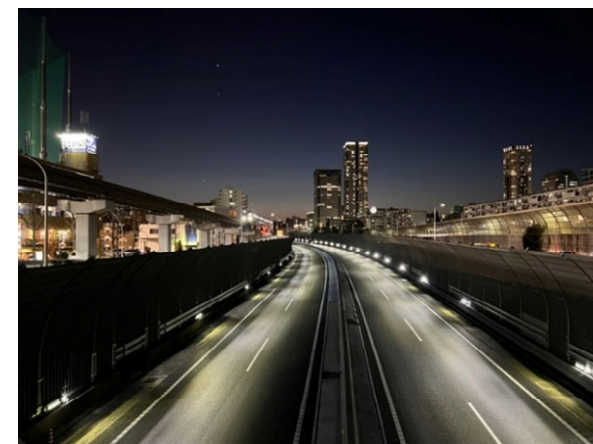
中国自動車道リニューアル工事 全線低位置照明化へ

◆低位置照明の課題

- ・光量不足
- ・設置間隔が狭く、灯具数が必要
- ・経済性が劣る

◆新型の低位置照明

- ・対称配光とプロビーム配光を組み合わせ遠くまで照射が可能
- ・照明の設置間隔を広げることで灯具数を削減
- ・ポール照明と同等以下のコストを実現



取り組み事例② EMC Engineering Service SEIWA

Component

コンポーネント事業

EMC Labのノイズ測定・解析・対策サービスを
起点としたトータルサポート

◆ 10m 法電波暗室が「ISO/IEC17025 : 2017 試験所」に認定

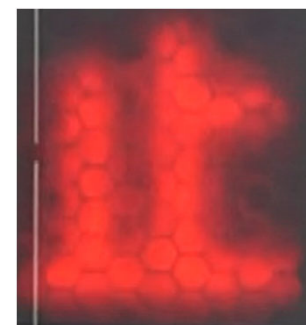
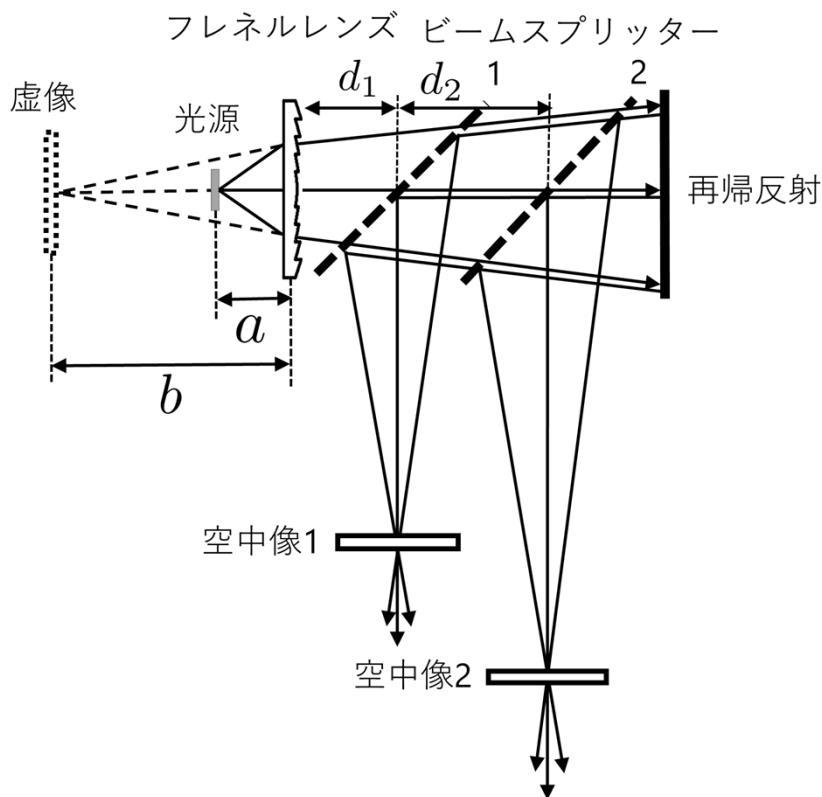
• お客様に対してより信頼性の高いサービスを提供が可能に。

◆ 当社コア製品（フィルタリング対策部材）の
シミュレーションモデルを提供開始

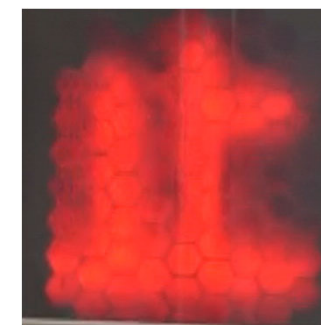
• 設計段階のEMC対策を可能とし、設計の精度向上や対策工数・コスト削減に寄与



フレネルレンズを用いたAIRRによる長距離空中表示システムの薄型化



空中像1



空中像2

図1 フレネルレンズを使用した空中LEDサイン試作機の原理図

図2 試作機による空中像

注：掲載雑誌に使用した図に和文説明を追加

Shinya Sakane, Shiro Suyama and Hirotsugu Yamamoto

“Reducing Thickness of Long-Distance Aerial Display System in AIRR Using Fresnel Lens.” Opt Rev 30, 657-663 (2023).

取り組み事例④ 女性活躍推進活動

SEIWA

女性活躍推進法に基づく行動計画 2022.4～2026.3

- ・新卒採用の女性割合30%
- ・管理職 1名以上および監督職候補の育成

女性にとって働きやすい職場環境や福利厚生制度の充実



「女性活躍リーダー研修」
「女性活躍キャリアアップ研修」



星和ママさんクラブ
交流ランチ会



仲間とつながるコミュニケーションイベント
「小1の壁・小4の壁 乗り越えたい の会」

取り組み事例⑤ 地域・社会貢献活動

SEIWA



地域の小学校の工場見学を実施



地域の子ども向けイベントに出展



大阪市

栃木県日光市

工事施工地域の小学校でイルミネーション教室を開催



星和ママさんクラブ
フードドライブ活動「おむすびプロジェクト」

4. 2024年12月期の業績見通しについて

2024年12月期業績見通し

SEIWA

- 売上高 255億円
- 利益 営業利益 14億80百万円 経常利益 15億50百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 10億70百万円

(単位：百万円)

| | 2023年12月期 | 2024年12月期 予想 | 増減 | 増減率(%) |
|---------------------|-----------|-----------------|-------|--------|
| 売上高 | 23,760 | 25,500 | 1,739 | 7.3 |
| 情報機器 | 9,128 | 9,800 | 671 | 7.4 |
| 照明機器 | 8,653 | 9,200 | 546 | 6.3 |
| コンポーネント | 5,481 | 6,100 | 618 | 11.3 |
| その他 | 496 | 400 | △ 96 | △ 19.5 |
| 営業利益 | 1,041 | 1,480 | 438 | 42.1 |
| 経常利益 | 1,159 | 1,550 | 390 | 33.7 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 793 | 1,070 | 276 | 34.8 |

公共設備関連：防災・減災、国土強靱化によりインフラ整備のための公共事業の継続、政府のカーボンニュートラル施策を背景とした照明器具のLED化促進を予想

民間設備関連：国内の設備投資、老朽化更新等によりLED照明器具の需要が堅調に推移する見込み
自動車関連およびインフラ投資が堅調に推移する見込み

事業別の見通しと方針

Information System
情報機器事業

見通し：国土強靱化やインフラ整備のための公共事業の継続
方針：期初の受注残高に加えて更なる受注の確保
製販連携による確実に効率的な生産と品質の確保

公共設備関連

見通し：政府のカーボンニュートラル施策を背景に照明器具のLED化が促進
方針：LEDトンネル照明器具の新製品を中心とした提案営業活動による受注の確保

民間設備関連

見通し：国内の設備投資、老朽化更新等によりLED照明器具の需要が堅調に推移
方針：新型LED照明器具の拡販と多機能照明の開発による市場のシェア拡大

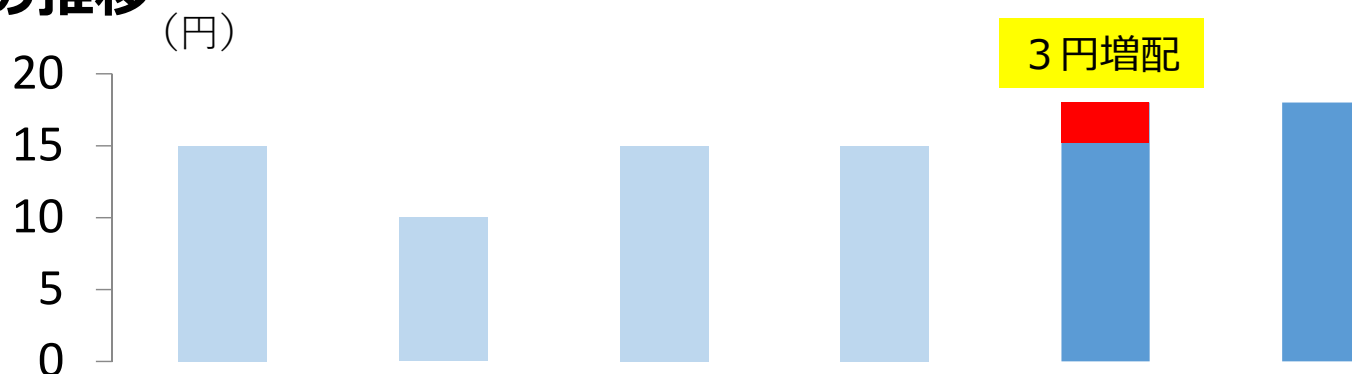
Component
コンポーネント事業

見通し：自動車関連およびインフラ投資が堅調に推移
方針：新製品開発と電波暗室を活用したソリューション営業活動による市場の拡大
および新市場の開拓

全事業においてコスト削減と生産性の向上による収益性の改善を図っていく

5. 株主還元について

■ 1株当たり配当の推移



| 決算年月 | 20/3 | 20/12 | 21/12 | 22/12 | 23/12 | 24/12(予) |
|----------------|------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 1株当たり配当額 (円) | 15 | 10 | 15 | 15 | 18 | 18 |
| (うち1株当たり中間配当額) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |

■ 配当方針

株主に対する安定配当の維持と将来の事業展開のための内部留保の充実を考慮して、毎事業年度における業績と財務状況等を総合的に勘案する。

■ 当期の配当について

上記方針に基づき、より一層の利益還元の観点から総合的に勘案した結果、期末配当金を当初配当予想の1株当たり15円より3円増配し、1株当たり18円とする。

星和電機株式会社

TEL: 0774-55-8181

FAX: 0774-58-2034

E-mail: info@seiwa.co.jp

<https://www.seiwa.co.jp>

当資料には、2024年3月6日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関するリスクや不確定要素により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

◆当資料の計算方法について◆

数値は百万円単位で表示し、百万円未満を切り捨て
%（パーセント）で表示する場合は、小数第1位未満を四捨五入
増減額および増減率等は、円単位で算出しております。